

# RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2014～2015年度

第55代会長 澤邑 重夫

第55代幹事 古知屋光洋



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-29 茅ヶ崎商工会議所3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2014年10月30日(木) 第2648回例会 天候:晴れ 移動例会[ラスカロイヤルルーム] No. 17

\*\*\*茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

## ≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱「それでこそロータリー」
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇委員会報告 財団
- ◇卓話 イニシエーションスピーチ 富田桂司君 ※例会終了後、新会員歓迎会を開催しました

### ◎ゲスト・ビジター

加茂正司君(名誉会員)

### ◎幹事報告

◇国際ロータリーより 11月度 ロータリーレートのお知らせ  
1ドル=106円

◇ガバナー事務所より

\*地区/グローバル補助金 提案書・申請書 提出についてのオリエンテーション

・11/17(月) 15:00～18:00 ・第一相澤ビル6階 会議室

\*ロータリー財団の年次寄付 ポリオ・プラス寄付 恒久基金寄付 推進のお願い

\*RI会長ゲイリーC. K. ホアング夫妻をお迎えして「ジャパン・ロータリーデー II in東京」開催の案内

・2015年2/4(水)14:00～ ・ホテル グランパシフィック LE DAIBA ・会費:17,000円

◇茅ヶ崎商工会議所より

\*平成26年度優良産業人等表彰式の臨席について依頼

・11/19(水) 11:00～12:00 ・茅ヶ崎商工会議所4階 大会議室

\*平成26年度優良産業人表彰の助成金交付について依頼

・被表彰者 35名 ・助成金希望額 35,000円 (1名につき1,000円)

◇玉蘭荘より 玉蘭荘だより 144号(9/26に当クラブメンバーが訪問した際の写真が掲載されています。)

◇タウンニュース

### ◎例会変更

☆平塚西 11/5(水) 移動例会(韓国西清州 RC との合同例会)

◎会報着 台北西北

◎委員会報告

R財団 [加藤会員]: 地区委員会の報告と米山奨学生の著書紹介



委員会報告の加藤会員、ソング吉田会員、スマイル中山会員



澤邑会長と新会員の3名。左から杉本剛昭会員・北村公子会員・富田桂司会員

◎出席報告 梅田弘人会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
10/30	2648	40	34+4	29	2	7	81.58%	
10/19	2646	40	34+3	23	3+2	9	70.27%	75.68%

卓話「イニシエーションスピーチ」富田桂司君

1971年（昭和46年）4月27日生まれ。当年43歳です。  
 私の産まれた年の代表的な出来事としましては、NHKがテレビのカラー放送開始、アポロ14号の月面着陸、円変動相場制の導入、年が明けて、浅間山荘事件等になります。  
 そして、私たちの生まれてきた世代は後々、ベビーブーム世代、団塊ジュニア世代と呼ばれてきた年齢層にあたります。  
 父庄司、母睦子の間に四人兄弟の長男として産まれました。両親とも茅ヶ崎生まれ、茅ヶ崎育ちの生粋の茅ヶ崎ローカルになります。私が生まれた当初の家族構成といたしましては、両親、祖父母、4人兄弟の8人家族、加えて住み込みで働いていた職人さんたちとの協同生活でございました。  
 小学生の頃には習い事等もいろいろやらされ始めるようになってまいります。姉と一緒に始めたエレクトーン教室や剣道、そして学習塾通い等もするようになってまいります。残念ながら、どれも親から勝手にやることを決められたものばかりで、好きになれるものがみあらず、中学生になる頃には全て辞めてしまうこととなります。それでも中学生ともなりますと、部活動と合わせて塾通いは、続けることにはなっておりました。中学、高校では部活動ではバレーボールをやっておりました。振り返れば、適度に楽しく、毎日を充実して過ごしていると実感できたのはこの思春期を迎える時期だったかもしれません。  
 平成四年、我々世代が大学生になる頃といたしますのは、世の中ではバブル景気も終焉を迎える直前でありました。残念なことにベビーブーム世代、団塊ジュニア世代は、団塊世代同様に時代やトレンドを牽引する、人口の多い世代でもありましたが、経済後退局面においてはデメリットとして過当競争にまきこまれてしまう世代でもありました。受験をすれば倍率は30倍、40倍は当たり前、就職するにも採用人数に対して、同様の狭き門であり、各企業は前年度半分の採用枠等になっていることもざらでした。中には、縁故採用でほぼクローズしているという企業も数多く見受けられる程でした。

そんな中、私本人はどうだったかと申しますと、いずれは家業を手伝おうかと、意識はしておりましたので、自分自身の未来予想図では将来の方向性は既に決まっておりました。ところが、なかなか実家からはお声がけがありません。母に父がどう考えているのか相談しましたところ、社会人を経験せずに家業を手伝わせることについて反対していると聞かされます。通例、石工職人を始める人間であれば早ければ高校卒業と同時に愛知県岡崎若しくは茨城の真壁で修行をする、若しくは石材問屋にて丁稚奉公というのが一般的な流れではありましたが、今現在では石屋の小倅といえども、大学を卒業してから家業を継がれる方が大半を占めるようになってまいりました。  
 家業に戻るまでの時間的猶予が与えられたと考えると、私も一念発起いたしまして、国内においては初めて流通業における貿易実務を学問として大成された石田貞夫先生のゼミに入ることとしました。阪神・淡路大震災に見舞われ、神戸出身の同期2名が辛い思いをしながらも真摯に学業に打ち込むなど苦難の末、同期のゼミ生全員が貿易実務及び商業英語検定試験に合格し、社会へ巣立っていく時を迎えました。  
 知り合いOBからの紹介にて就職、サラリーマン生活をしておりまして折に、ご縁あって私が担当させて頂きましたお取引先の一つに、当クラブにお誘いいただきました、澤邑会長の以前お勤めされていた会社があり、今現在までのお付き合いさせていただいております。かれこれ10年サラリーマン生活がつづき、中間管理職になろうかというころ、祖父、祖母が亡くなり、実家では長く勤めていた職長が定年退職を迎え、介護で両親が倒れることとなり、これが家業への転職をするきっかけとなりました。  
 それから本年に至り、澤邑会長から会議所青年部在籍中に再会させて頂き、ロータリークラブへの勧誘を熱心にお誘いいただいたのがご縁で、当クラブへの入会を決意させていただきました。経営者としてはまだまだ勉強中の身ではございますので、自身のスキルアップも継続しながら、クラブ活動を通じまして、少しでも将来への貢献ができればと考えております。

卓話音声は当クラブホームページよりお聴き頂けます



左から卓話の富田会員、歓迎会司会の杉田会員、乾杯発声の伊藤会員、中締め挨拶の和田会員



下列)左から歓迎の言葉を述べる杉本行廣・山口・小澤・大森の各会員 上)『相州茅ヶ崎甚句』を熱唱する水嶋会員。9月の台北訪問でも大好評だったとのこと。これから茅ヶ崎RC宴会芸として根づいていくか、注目です！